

第12回特別支援学校作業技能大会に参加して

第12回特別支援学校作業技能大会が7月31日(水)にビックパレットふくしまで開催されました。作業技能大会は、県内の特別支援学校高等部の生徒が一堂に会して学習の成果を発表し、外部専門家からの客観的な評価を受ける大会です。それをとおして、生徒の社会参加と自立につながる学力や技術・意欲の向上を図り、自信をもって生きていくことができる生徒の育成を目指しています。本校からは、15名の生徒が参加しました。その頑張りをご覧ください。

高等部3年 T・N <ビルクリーニング部門>

私は、7月31日に開かれた作業技能大会のビルクリーニング部門に初めて参加しました。競技順番が一番最初だったので、開始時間まで緊張して待っていました。開始の合図で、ドキドキしましたが、大きな声であいさつをし、始めることができました。

競技では、ダスタークロスを使ってゴミを残さないように、手早く丁寧に行わなければなりません。終わってから、自分では「できなかったなあ。」と思いましたが結果は3級でした。これまで何度も練習をしたおかげで、本番は自分に自信をもってやることができました。こうして私が自信をもってできたのは、ご指導いただいた先生方のおかげと感謝しています。

私は、人前で発表するのが苦手でしたが、今回、作業技能大会に出場して自分に自信をもつことができました。校内の表彰式で校長先生から認定証をもらったときは、とてもうれしかったです。これからは、希望する進路に向けて、自分にもっと自信をもてるように頑張りたいと思います。

高等部3年 Y・E <PCデータ入力部門>

私は7月31日開催の特別支援学校作業技能大会でPCデータ入力部門に出場しました。初めての出場で大変不安でしたが、先生のご指導や周りの仲間のおかげで、緊張はありましたが、自信をもって本番に臨めました。

練習は書式やディスプレイの設定、ホームポジションを覚える所から始まったので大変でしたが、本番は皆様の応援もあり、練習の成果を発揮でき、大きなミスやアクシデントもなく終えることができました。

閉会式では司会進行役を担当しました。検定よりも緊張して声が出るか不安でしたが、失敗なく務めることができ安堵しました。

いろいろ挑戦し良い経験になりました。

高等部2年 U・Y <作業製品品評部門プレゼンテーション>

僕は作業技能大会で製品品評部門に参加して、木工製品のプレゼンテーションや、他の作業班のサポートなどをしました。

夏休みは、相手に伝わるようにゆっくりと丁寧に話すことが大事だと思い、気を付けながら練習しました。また、観客が見やすいように製品を持ったり、製品を目立たせたりする動き方の練習をしたりしました。

当日は、僕も周りのみんなもあまり緊張せずに、堂々と発表することができました。一生懸命練習したかいがあったと感じました。初めての経験でしたが、どうすれば見ている人に伝わりやすいかを考えることが楽しかったです。

ご指導下さった先生方、学校からリモートで応援して下さいました先生方、本当にありがとうございました。



< 保護者事業所見学会を実施しました >

社会福祉法人 しのぶ福祉会 就労継続支援B型事業所 あづま授産所
社会福祉法人 つばさ福祉会 生活介護事業所 カラーの夢

令和6年10月2日に保護者事業所見学会に参加してきました。小・中学部、高等部の2班に分かれて、あづま授産所プラス（就労継続支援B型事業所）、カラーの夢（生活介護事業所）の2ヶ所を見学させていただきました。

各事業所の就労の様子や作業内容、施設の案内、サービスについて伺うことができ、大変参考になりました。

今回初めて見学会に参加させていただいたのですが、進路担当の先生方も同行してくださって安心ですし、とても和やかな雰囲気でした。みなさんも是非、この機会を利用して実際の事業所を見学し、自分のお子さんに合った事業所を探してみても良いのではないのでしょうか？

中学部 保護者 吉野 真紀

